

# しみず 清水ひろき

30歳



## JR成田駅西口の再整備計画が、実質中止へ



今年、JR成田駅西口の再整備計画の事実上の中止が発表されました。成田市は「工事期間中に駅前ロータリー内のバス停をどこに移すのか決めていなかったこと」を中止理由の一つにあげました。これは成田市の見込みの甘さを示しています。

計画がスタートしてから6年間、その進捗状況が市民に知らされてこなかったことも大問題ですが、その中止が周知されていないことも無視できません。



再整備計画の延長が発表されたJR成田駅西口

### 西口再整備計画とは？

JR成田駅西口の再整備は、駅前の土地を有効に活用し、利用者の利便性を高めるとともに、駅周辺ににぎわいを生み出すことを目的として計画されました。

成田市は、民間事業者と協力しながら、バリアフリー化や魅力ある施設整備を進めることで、成田の玄関口をより使いやすく、活気ある空間を目指していました。

### 見込みの甘さが目立つ成田市の計画立案

成田市は、協議を進める過程で、当初想定していた内容と現実の条件が一致しない部分が見えてきたと述べています。たとえば、工事期間中に駅前ロータリー内の路線バスのバス停をどこに移すのか、JR敷地と接する崖をどう扱うのか、そして資材価格や人件費の高騰によって事業費が、

どれほど増えるのかといった問題です。

工事を行えば、バス停を移動しなければならないのは誰にでもわかることです。事前に移転先を決めていなかった点は、想定が甘いとしか言いようがありません。

### 進捗状況が周知されないまま6年経過

最大の問題点は、計画が始まってからおよそ6年にわたり、成田市がその進捗状況を市民に十分に周知してこなかった点です。事業の遅れや見直しの理由が明らかにされないうまま、計画が中止されたことは、説明責任を欠く行為です。

市民は、事業の内容だけでなく、なぜ進まないのか、どのような課題があるのかを知る権利があります。成田市は今後、市民が公共事業の進捗状況をいつでも把握できる仕組みを整えていくべきです。

## プロフィール

- ・ 熊本県人吉市に生まれる（1996年）
- ・ 芝浦工業大学柏中学校を卒業（2012年）
- ・ 芝浦工業大学柏高等学校を卒業（2015年）
- ・ 国際医療福祉大学成田キャンパスに一期生として入学し卒業（2020年）
- ・ 2025年まで、民間の水道企業に研究者として勤務し、成田市内で大学との共同研究に従事

- ・ 下水道の維持管理に必要な技術を証明する下水道第3種技術検定に合格
- ・ 現在『週刊新社会』記者として、英語、フランス語、スペイン語の語学力をいかして 国際ニュースを担当
- ・ フリーランスのビデオグラファーとして活動中
- ・ 子ども食堂「からべえ」副代表
- ・ 成田の医療と福祉を考える会代表

# 問われる公共事業の進め方

## 繰り返される場当たりの再整備計画

今年、成田市は、「JR成田駅西口の再整備」の代わりに、「JR成田駅西口のロータリーの再整備」を進めていくと発表しました。しかし、この計画が実現する見込みはとて低いと言わざるをえません。

なぜなら、JR成田駅西口の再整備計画を中止に追い込んだ理由の一つである、工事期間中のバス停の移動先が見つかっていないためです。この問題を解決せずに、ロータリーの再整備を実現することはできません。

成田市がすべきことは、場当たりに新しい再整備計画を立案することではありません。まず、なぜ今までの計画が失敗したのかをしっかりと検証することです。

工事期間中のバス停移転は、事業者にお金を払って青写真を作ってもら前からわかっていることです。同じ失敗を繰り返さないために、そして大事な税金を無駄遣いせずに計画を進めるために、成田市は大規模開発の進め方をもう一度再検討していく必要があります。

### 街頭活動を始めました！

6月より街頭活動を開始しました。雨天決行で毎週4回行っています。

基本的に月曜日と金曜日はJR成田駅西口、火曜日はエービン成田ニュータウン店前の交差点、木曜日は成田警察署前の交差点で活動しています。場所を変更する場合がありますので、右のQRコードからホームページにアクセスし、ご確認ください。



### 成田市下水道管は安全なのか？

#### 元水道企業の研究者が解説

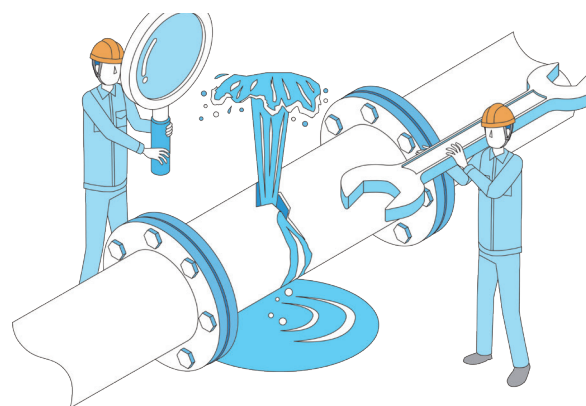
全国各地で水道管の破裂による道路の陥没が発生しています。成田市の下水道管は安全なのか心配している市民の方も多いでしょう。

**水道企業で研究者として働いていた清水ひろきが皆さんの疑問にお答えします！**

まず下水道管には、家庭から出てきた生活排水を下水処理場に届ける下水道管と、雨水が流れる下水道管の二種類があります。全国各地で道路を陥没させているのは、主に生活排水が流れている下水道管です。

成田市には、国が調査するように指導している口径2,000ミリメートル以上の生活排水が流れる下水道管はありません。市内に敷設されているのは、比較的小さな下水道管のみです。

昨年、市が行った調査によると、生活排水が流れる下水道管は安全な状態でした。一方で、雨水が流れる下水道管はまだ調査が済んでいません。



市の担当者は、昨年の議会で「現在、2,000ミリメートル以上の雨水管についても国のほうから調査の依頼がございまして、そちらのほうについては、現在、調査を発注する準備の段階でございます」と答えています。

下水道管の破裂は、電話線やガス管、光ファイバーなど生活に不可欠なインフラを破壊してしまいます。場合によっては救急車や消防車の移動を妨げてしまうこともあります。下水道管の整備にしっかりとお金をかけることは、安心して暮らせる街づくりに欠かせません。

## 後援会のご案内

清水ひろき 選挙ドットコム

検索

<https://go2senkyo.com/seijika/199425>

成田の自然や暮らしを守りつつ、未来へとつなぐまちづくりを皆さまと一緒に進めたいと考えています。ぜひ後援会にご入会いただき、ご支援・ご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 後援会規約（抜粋）

本会は清水ひろきの政治活動を支援することを目的とする。

本会は前項の目的を達成するため次の事業を行う。講演会、座談会等の開催、会報等の発刊及び配布、関係諸団体との連携、その他本会の目的達成のため必要な事業